

全拉致被害者の即時一括帰国を 求める国民大集会

11月13日に1年ぶりに「全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会」を開きます。コロナウィルスの蔓延のため、昨年10月に国民大集会を開いた後、救出のための活動を控えざるを得ない日々が続いていました。また1年、被害者を取り戻せない月日を重ねてしまいました。彼の地で助けを待っている被害者たちに申し訳なく、悲しさと怒りがわいてきます。

10月に新任された岸田文雄首相は18日に家族会と面会し「変わりなく、拉致問題は最重要課題」「私自身先頭に立って取り組んでいかななくてはならない」「全ての拉致被害者の一日も早い帰国実現に向けて、私自身、条件を付けずに金正恩委員長と直接向き合う決意」と力強く語りました。

北朝鮮の経済危機は深化し、軍人の食料が枯渇し、党と政府の最高幹部らへの物資供給が止まり、中央銀行は紙幣が刷れなくなりペラペラ紙の臨時紙幣を発行するに至りました。動揺を抑えるためミサイル発射など挑発を続けていますが、国際社会は最高度の制裁を維持しています。「先圧力、後交渉」にもとづき何としてもこの厳しい制裁を背景にして日朝首脳会談を開かせなければなりません。

北朝鮮が日本から多額の経済支援を得るためには親の世代の拉致被害者家族が健在のうちに全被害者を一括して帰すしか道はない。親の世代が被害者と抱き合うことなしには、日本の怒りは解けず、支援はあり得ないことを、北朝鮮の最高指導者に伝えることが、今大切です。救出のシンボルのブルーリボンバッジをつけてぜひ、みなさん国民大集会にお集まりください。

なお、ご参加の場合は、マスクを必ず着用し、コロナ対策のため参加者票に必要事項をご記入の上ご持参下さい。発熱（37.5℃以上）や体調不良（咳等）がある場合は、ご参加をお控え願います。また、厚生省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）がホームページで簡単に見つかりますので、スマホに入れてご参加ください。入り口で検温とアルコール消毒も実施します。

令和3年11月13日（土） 午後2時～4時 シェーンバッハ・サポー



と き 令和3年11月13日（土）午後2時から4時まで

開 場 午後1時（先着順）

と ころ 砂防会館別館1階、シェーンバッハ・サポー

東京都千代田区平河町2-7-4 TEL:03-3261-8386

地下鉄永田町駅（有楽町線・半蔵門線・南北線）4番出口徒歩1分

5番出口（都道府県会館前）はエレベーターあり

赤坂見附駅（銀座線・丸ノ内線）が永田町駅に接続

登壇者 岸田文雄総理大臣（要請中）、松野博一官房長官・拉致問題担当大臣（要請中）、
家族会・救う会役員、拉致議連役員、知事の会代表、地方議連代表、各党
代表、特定失踪者家族会代表

参加費 無料（会場カンパ歓迎）

✂ キリトリ線

◆国民大集会参加票 感染防止対策のため、当日ご持参を。

お名前		電 話	-	-
住 所	〒			
同伴者（同居されている方）お名前				

岸田総理面会後の家族会記者会見

10月18日、岸田総理と面会后、参議院議員会館講堂において家族会の記者会見が行われました。以下はその概要です。

◆皆さんと意思を共有しながら政府の具体的な動きを注視したい

飯塚繁雄（田口八重子さん兄、家族会代表）

今日、岸田総理大臣が家族会と面会していただいたというのは、総理就任後選挙もあり忙しい中で、大変早かったと思います。そういう意味では、拉致問題を重要視しているという意志の表れだと思っています。

拉致問題は国の重要課題であるという政府の態度については変わりありませんという雰囲気でした。

特に私の願いですけれども、やりますよという言葉だけではだめだ。いつまでに何をどうして行くんだというような具体的な計画のもとに進めてほしい。これは毎回言っているんですけども、残念ながら結局は何も動きがなかったということになってしまいました。

そういう点では、やってくれているんだな、もう少し経てばこうなるんだな、というようなことを見極めながら、皆さんと意思を共通しながら注視していくことができればと思います。

ですから、進めていくための強い意志と、強い覚悟をぜひ持っていただいて、総理も「一所懸命やりますよ、全身全霊をもってやります」と言われましたので、それとともに一緒になって見ていきたい、注視していきたいというふうに私は思います。

諦めるわけにいかないこの問題について、皆さんと一緒にもう一回戦っていきたくて考えています。よろしく願います。有難うございました。

◆希望を持って待ちたい

横田早紀江（横田めぐみさん母）

お忙しい中、拉致問題に大きな関心を持っていただき、応援していただき、本当にありがとうございます。あまりにも長い年月が経ち、何がどう動いているのかも分からない状態なので、具体的なことを教えてほしいとお願いしました。

変なことを言っている人もいますが、拉致は大変なことなのです。希望を持って待てるようお願いしました。

◆家族に会いたい

斉藤文代（松木薫さん姉）

私たちは家族に会いたいです。また私も歳ですし、どこまで待てるか分かりませんので、家族に会って、自分が満足して、またお父さん、お母さんにも報告ができるということを願っていますので総理に頑張っていただきたいと思っています。宜しくお願いいたします。

◆兄弟も亡くなると、帰ってきた時にどんなに悲しむか

市川健一（市川修一さん兄）

19年前の2002年、5人の被害者が帰国してから、その後だれも帰国を果たしていません。私たち家族も高齢になっています。本当に時間がないんです。政府はあらゆる手立てを講じて被害者を取り戻し、家族と再会させていただきたいとお願いしました。

私たちは親も亡くし、兄弟だけになりました。その兄弟も亡くなってしまうえば、帰ってきた時にどんなに悲しむかと思うと、一刻も早く救出していただき、私たちが健在な内に会わせていただきたいと強く願っています。

◆連絡事務所や調査委員会のような甘い誘いに乗ってほしくない

横田拓也（横田めぐみさん弟、家族会事務局長）

本日、岸田総理はお忙しい時間の中で、私たちに1時間の時間を与えてくださって、感謝したいと思います。

私が総理に申し上げたのは、私の姉めぐみが拉致されたのは13歳で、今年10月5日で57歳の誕生日を迎え、既に44年が経過している、すごく長い時間を過ごしているということです。

家族会が結成されたのは1997年ですが、それから24年が経過しています。また、2002年9月の日朝首脳会談から19年が経過しています。この間家族会・救う会は11人の総理と面会して、「被害者を取り戻してください」と訴え続けてもまだできていません。

今後あらゆる交渉をしていく中で、1つお願いしました。それは家族会、救う会、拉致議連の基本方針でもありますが、こうした膠着状態の中で、北朝鮮側や日本国内から聞こえるいい話が聞こえてくることです。日朝双方に連絡事務所を設置するか、調査委員会を立ち上げてはどうか、それによって何か手掛かりが見つかるのではないかと話です。こういう提案には絶対に乗ってほしくないということです。家族会には反対しているとお伝えしました。

北朝鮮当局は24時間、拉致被害者がいつ、どこで、何をしているかが分かっているわけで、あたかも分かっているかのような調査委員会の立ち上げなどは時間稼ぎにしかならないわけです。そういう甘い誘いに乗ってほしくないとお伝えしました。

またこの問題は首脳同士でないと解決できないので、拉致被害者を返せば日朝双方に平和な未来が描けるのだということを是非岸田総理からお伝えしていただきたいとお話しました。

◆「解決済み」をどう突き崩すか

横田哲也（横田めぐみさん弟、家族会事務局次長）

本日岸田総理は、「拉致問題は岸田内閣の最重要課題である」とおっしゃいましたので、「それで安心しました」と申し上げました。

一方北朝鮮は相変わらず「解決済み」と言っていますので、そこをどう突き崩すのが大事だと思います。しかし、この問題が解決しなければ主権国家とはいえないので、政治力、外交力を駆使して解決してほしいと申し上げました。

日本と国連の制裁が効いていて、外貨や物資が少なくなっかなり追い詰められていると思いますが、一方でミサイルを発射する資金はどこかの国やどこかの人が流入させているということですから、今以上に国際連携を強めて「瀬取り」等を防いで、北朝鮮を追い詰めてほしいと申し上げました。

◆全員一括帰国こそ

飯塚耕一郎（田口八重子さん長男、家族会事務局次長）

2002年以降19年が経ち、とても時間がかかっています。安倍政権、菅政権でも「最重要課題」としながらもまだ解決していません。努力には感謝していますが、結果は出ていませんので、一日も早く解決してほしいと申し上げました。

岸田首相に全拉致被害者の即時一括帰国の実現を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1内閣総理大臣 岸田文雄殿
首相官邸のホームページ＝<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 古屋圭司）
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 黒岩祐治）
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

事務局 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905 電話03-3946-5780 FAX03-3946-5784 担当＝平田隆太郎
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

募金先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」/ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒヲ リウウウ）

11/13 国民大集会